

第15週の発生動向(2004/4/5~2004/4/11)

- 1 インフルエンザは警報、注意報が解除され終息しています。
- 2 感染性胃腸炎は、まだ報告数が多いので注意が必要です。

第15週定点把握五類感染症

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		発生の傾向
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
72 インフルエンザ	1	0.08	2	0.13		0.00		0.00	4	0.44	16	2.67	23	0.36	
60 咽頭結膜熱		0.00	3	0.30		0.00		0.00		0.00		0.00	3	0.07	
61 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	19	1.90	4	0.44	2	0.40	17	2.83	7	1.75	54	1.29	
62 感染性胃腸炎	81	10.13	65	6.50	10	1.11	8	1.60	14	2.33	24	6.00	202	4.81	
63 水痘	11	1.38	16	1.60	13	1.44	4	0.80	16	2.67	7	1.75	67	1.60	
64 手足口病	1	0.13		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.02	
65 伝染性紅斑	2	0.25		0.00	1	0.11		0.00		0.00	2	0.50	5	0.12	
66 突発性発疹		0.00	5	0.50	4	0.44	1	0.20	1	0.17	1	0.25	12	0.29	
67 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
68 風疹		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
69 ヘルパンギーナ		0.00	1	0.10		0.00		0.00		0.00	1	0.25	2	0.05	
70 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
71 流行性耳下腺炎	6	0.75	3	0.30	11	1.22		0.00	1	0.17	4	1.00	25	0.60	
73 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
74 流行性角結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.50		0.00	1	0.09	

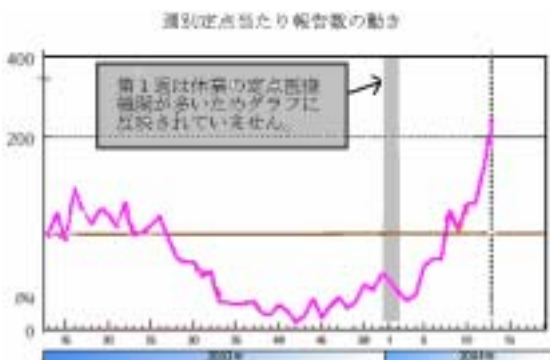
	定点数			
	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

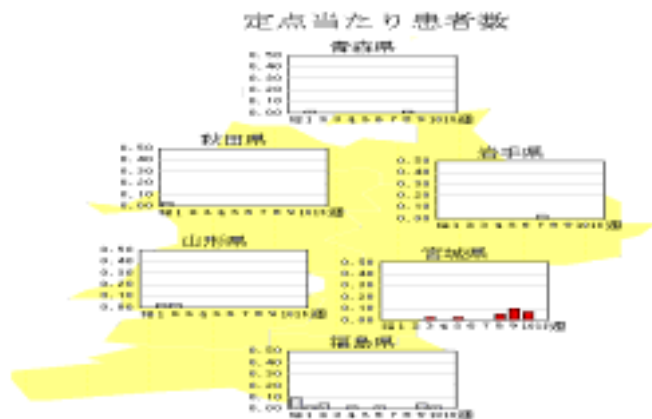
発生傾向・「」増加傾向、「」減少傾向、「」ほぼ横ばい、「空欄」患者発生数0、■は注意報、■は警報
第15週定点把握五類感染症(基幹定点:定点数6)と**全数把握感染症**(16年計には、今回届出された件数を含む)
 59 RSウイルス感染症 弘前保健所管内 1人(16年計 13人)

感染症の窓

風しん



2002年第12週の定点当たり報告数を100%として、各週の報告数を換算過去1年間の増減を表している。



- ・ 風しんの感染経路は、鼻咽腔分泌物の飛沫感染であり、潜伏期間は通常16~18日とされています。
- ・ 季節的には3月~7月までが好発時期とされていますが、近年、季節性は薄れてきています。
- ・ 今年は昨年より高い値で推移しており、報告の多い県としては群馬県、大分県、鹿児島県となっています。東北6県を見ると、図のとおり宮城県で報告数が多くなっています。
- ・ 本県での第15週までの小児科定点からの報告数の累計は4件となっていますが、「先天性風しん症候群」の予防のため、産婦人科においても地域の流行状況に細心の注意を払っていく必要があります。